

## 春の沢集中 榎ノ沢

期間:2010年6月5日～6日

メンバー:L斎藤、塚原、野澤(記)

今回は、新人だが大ベテランの塚原さんと一緒だ。また、リーダーの池田さんが直前に風邪でダウンし不参加になってしまった。残念！急遽、斎藤さんにリーダーになってもらうことになった。

6/4(金) 21:00 出発

ご近所のはずの塚原さんをナビ頼りに迎えに行くが、途中で遭難。塚原さんに捜索隊を出してもらおう。やっと発見され合流。先が思いやられる。次に愛甲石田の斎藤さんと合流。どの経路で行くか？意見がたくさん出て、結局御殿場ルートで行くことになり秦野へまたUターン。御殿場～河口湖～一宮御坂～雁坂トンネル～道の駅:大滝温泉へ。2:30到着。遠回りしたような気がしないでもないが、とりあえず無事着いたので良かった。他チームは先に到着して入山祝いも終わって眠りに着いていた。朝4:00起床とのこと。とっとと寝る。

6/5(土) 曇り

4:00 起床、5:00 道の駅出発。

出発前に、食当の塚原さんから食料分担分をもらった。量が多い。しかも重い。

メニューを聞いたら吃驚。頑張っただけねば…。メニューは後で紹介します。

5:44 荒沢橋P出発。荒沢林道を歩いていくと、松葉沢手前の大きく曲がる手前に下降の分岐があった。6:27。下降し松葉



入溪分岐

沢へ着く。ここで沢支度をする。7:00出発。

井戸沢へ入って20分ほどした頃に、大きな釜を持った斜爆が現れる。8:07。う～ん。綺麗だ。左岸を越える。



2条3m滝

続いて、2条3m滝。8:29。



大きな釜を持つ2m滝

この先は、有名な「キンチヂミ」だ。



9:00 キンチヂミ着。やっぱり巻くしかない。右岸の崩壊している部分を巻く。上部には、ご丁寧に懸垂下降点の木にマークがあった。40mザイルだと少し不安だったが、斎藤さんが下降していく。途中で終わってしまったが、何とか途中のテラスまで降りられた。しかし、川床までは5mほど残っている。もう1ピッチ出す。下降点から対岸に渡るのだが流れが強そう。しかも滝の落ち口まで近い。安全策でザイル渡渉を行う。実際に流れに入ってみるとザイルが無くても大丈夫だったと思うが、出したついでに使ったので、大して苦ではなかった。キンチヂミの最後のところが少し深い。まだ春先で胸以上になると辛い。一旦覚悟を決めるために休憩を取り作戦を立てる。どこか弱点はないか？塚原さんが偵察に行く。右岸に残置シュリンゲが見える。その辺が浅そうだ。倒木等で浮島になっているところを乗り越え右岸へ。残置シュリンゲ付近をへつりながら進む。腰から深いところで胸下まで浸かるだけで済んだ。難所のキンチヂミを超え、榎ノ沢出合で大休止。

榎ノ沢出合は、倒木だらけだったが、少し歩くと、小滝の連続で楽しい。30分ほど行くと、奥秩父らしい緑色の苔生す沢が現れる。10:44。これを期待していた！癒されるな～。



綺麗な苔に感激しながら、どんどん小滝を超えていく。いきなり目の前に、更に見事な苔の滝だ。幅20mほど。どこでも登れそうだ。12:10。

モデル2人に登ってもらおう。斎藤さんは、正面をシャワークライムで越えていく。気持ちよさそう！塚原さんも濡れたくないと言いながらしっかりシャワークライムで登ってくる。私も当然続く。やっぱり気持ち良い。皆にも教えてあげなきゃ。



今日のBP予定地は、1580mの二俣だ。しかし、二俣周辺は倒木も多く、しかもいまいち平じゃない。1500mまで戻り、BPとする。15:50着。手を伸ばすと枯れ木がある。薪集めが楽だ。テント場の平地化に時間を

かける。5人用テントなのでかなり広めに整地する。5人用に3人とは贅沢だ。

お待たせのメニュー公開だ。

前菜にキムチ鍋とうどん。主食は、ご飯と焼肉だ。網も持ってきている。塚原さん、流石に沢慣れしている。団扇が無く焚き火に少しだけ苦労したが問題なし。いつもの如く、暖かい焚き火に当たりながら、食べながら、飲みながら、語らいながら、しかも山の唄の指導付きで楽しい時を過ごす。

楽しい時は、あっという間に過ぎていく。

18:00の無線の定時連絡は、桂谷チームの新井さんと交信が出来た。RSレポート59。明瞭だ。他は連絡つかず。

よその無線局の音が明瞭に聞こえる。

沢が開けている方には、かなり通じているようだ。アンテナを強化して大正解だ。

21:00過ぎに寝たようだが、良く覚えていない。広々としたテントの中で熟睡だ。

6/6(日) 4:00起床。

朝食がまた凄い。ご飯、うどん、シュウマイ、中華スープ、キューリ、炭火で焼いた鮭。

朝からたっぷり食べて6:00出発。少し行くと倒木が多くうんざり。右岸を巻く。

連瀑帯につく。巻かずに行けるところまで行ってみることにする。3個の滝を越えた。途中1回、リードさせてもらった。その上も少し悪いので念のため、ザイルを出した。

ザイルは結局3回。柵ノ沢は出さなくても良かったかも。

連瀑帯を超えると、倒木が一段と多くなり沢の遡行を断念。詰めの尾根に向かう。7:20 1893mの縦走路着。三ツ石山手前に出た。沢支度を解き、集合場所の雲取山へ向かう。7:47。

途中、石楠花とミツバツツジが綺麗だった。

順調に進み、何と9:27。雲取山避難小屋着。集合時間は12:00。

たっぷり余裕がある。

テント、タープ等全て乾かす。1Hもかからず乾いてしまった。



三ツ石山付近から見た富士



集合時間の12:00JUSTに最終組が到着。全員無事に到着。この後、雲取山山頂で記念写真を撮り、各自のコースへ下山していった。桂谷チームと一緒に大ダワから尾根沿いに下りる。ナビの威力が凄い。悩まずに一直線に下りていく。

残念ながら荒沢橋着時間を記録し忘れてしまった。16:00頃だったような・・・。

今回は、春の沢集中担当だったので、下山してホッとする。また、2年ぶりの春の沢集中だ。やっぱり皆で来る沢は楽しい。

今年は沢を楽しむぞ。皆さん付き合ってください！